

第3次三重県スポーツ推進計画（仮称）  
素案

令和4年10月6日

三重県

# 目次

---

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	・ 計画策定の趣旨、位置付け、計画期間	
	・ 本計画における「スポーツ」の定義	
2	計画の背景・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	三重県のスポーツの現状・課題（第2次推進計画の取組検証）	8
4	計画の基本方針・・・・・・・・	15
	・ 計画のめざす姿、推進施策の方向性	
5	推進施策の展開・・・・・・・・	18
	・ 推進施策1 スポーツに触れ親しむ環境づくり	
	・ 推進施策2 スポーツを通じた自己実現と感動体験	
	・ 推進施策3 スポーツを通じた地域の活性化	
6	計画の実現に向けて・・・・・・・・	36
	・ 推進体制、進捗管理	

# 1 はじめに

## 計画策定の趣旨

- 平成31年3月に「第2次三重県スポーツ推進計画（令和元～4年度）」を策定  
＜計画の特徴＞
  - ①三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功
    - ▶「オール三重」で取り組む開催準備・大会運営
    - ▶三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯の獲得
  - ②障がい者スポーツの裾野の拡大
    - ▶障がいのある人がスポーツに取り組む機会の充実と参加意欲の向上
  - ③大規模大会のレガシー（遺産）を継承
    - ▶両大会等の開催による有形・無形のレガシーを継承
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や両大会の中止・延期見送り、新型コロナウイルスの感染拡大、デジタル化の進展など、県内外におけるスポーツを取り巻く環境は大きく変化
- 両大会のレガシーを生かし、本県スポーツの振興を図るため、令和5（2023）年度以降のスポーツに関する取組を示す「第3次三重県スポーツ推進計画（仮称）」を策定する

## 位置付け

- スポーツ基本法第10条における「地方スポーツ推進計画」
- 三重県スポーツ推進条例第16条に基づく「スポーツ推進計画」
- 強じんな美し国ビジョンみえの「施策展開の基本方向と政策」
- みえ元気プランの「政策・施策」

## 計画期間

令和5（2023）年度から令和8（2026）年度までの4年間

# 1 はじめに

---

## 本計画における「スポーツ」の定義

- スポーツは、「楽しさ」、「喜び」につながる身体活動
- ルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけがスポーツではない
- 「余暇時間や仕事時間等を問わず健康を目的に行われる身体活動」、「遊びや楽しみを目的とした身体活動」も幅広くスポーツと捉える

### <参考①>スポーツ基本法における「スポーツ」

- 心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動

### <参考②>国の第3期スポーツ基本計画における「スポーツ」

- 「文化としての身体活動」を意味する広い概念であり、「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、「楽しさ」や「喜び」を感じることに本質を持つもの

### <参考③>「スポーツ」の語源

- ラテン語「deportare」（義務から離れる、気晴らし）

## 2 計画の背景①

---

### 県内スポーツの状況

<平成30（2018）年度～令和3（2021）年度>

- 平成30年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）
- 令和2年度全国中学校体育大会【開催中止】
- 三重とこわか国体・三重とこわか大会【開催中止】
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組  
（事前キャンプ地誘致、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバル）

### スポーツを取り巻く状況

- 人口減少・少子高齢化の進展
- 新型コロナウイルスの感染拡大
- DX（デジタル・トランスフォーメーション）の進展
- 中学校における休日部活動の地域移行
- 国の第3期スポーツ基本計画（R4～R8）の策定

## 2 計画の背景②

---

### 三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシー

#### I スポーツを支える人づくりとスポーツの機運醸成

- 競技役員が養成され、運営ノウハウが蓄積
- 多くのボランティアに登録いただき、研修等によりスキルが向上
- デモンストレーションスポーツによるスポーツ参加機運の向上
- とこわか運動や児童生徒の協力、募金・企業協賛等による県民の参加意識や一体感の向上
- 障がい者スポーツの活性化と理解促進

#### II 県民の皆さんに夢や感動を与える競技力の向上

- 選手の育成強化により、オリンピックをはじめ世界レベルの大会で活躍する選手を輩出
- アスリート就職支援によりトップアスリートが三重県の企業に就職し定着
- コーチアカデミー事業などにより、指導者が充実し、指導力が向上
- 障がい者スポーツ団体を含む多くの競技団体が新たに誕生

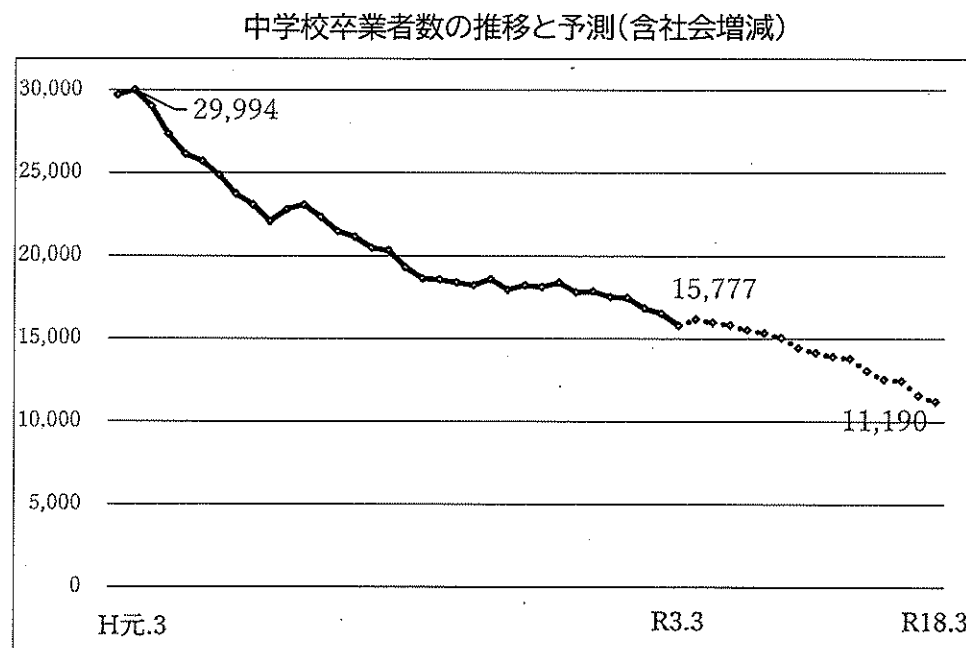
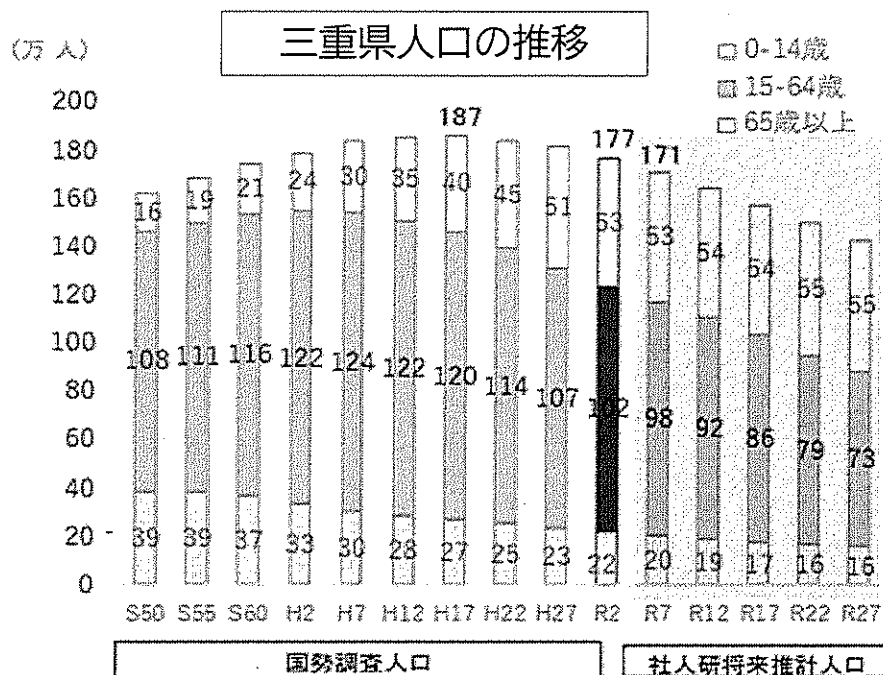
#### III 県民の皆さんがスポーツを楽しむための施設整備

- 全国レベルの大規模大会を開催可能な施設の整備
- 県民の皆さんが気軽にスポーツができる環境の整備
- アスリートの競技環境の整備

## 2 計画の背景③

### 人口減少・少子高齢化の進展

- ▶ 平成19（2007）年、県内人口は187万人でピーク
- ▶ 平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけて県内人口は4万6千人減少
- ▶ 中学校卒業生数の減少  
平成元（1989）年 29,994人 → 令和18（2036）年 11,190人（予測）



## 2 計画の背景④

### 新型コロナウイルスの感染拡大

- ステイホームなどの行動制限、人流抑制のための公共スポーツ施設の休館
- 県民のスポーツに触れ楽しむ機会の減少
- コロナ禍がもたらす県民の心身の健康への影響
- 人と人との繋がり希薄化、地域活力の低下
- 生涯を通じた生きがいや健康増進、地域の絆づくりや活性化など、スポーツが果たす役割の再認識

### DX(デジタル・トランスフォーメーション)の進展

- コロナ禍における「新たな日常」の原動力としてクローズアップ
- 先端技術の活用を通じて人々の「働き方」や「生活様式」など、ライフスタイルが変化
- スポーツの醍醐味である「アナログ」の部分とバランスを取りつつ、スポーツをより「豊かに、安心に、便利に」するDXの活用が不可欠

### 中学校における休日部活動の地域移行

- 深刻な少子化に伴う生徒数の減少により、中学校部活動は持続可能性の面で厳しさを増す
- 国から休日の運動部活動から段階的に地域移行していく方針が示された
- 目標時期は、令和5年度から3年間、令和7年度末を目途
- 将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保



## 2 計画の背景⑤

---

### 国の第3期スポーツ基本計画(R4～R8)の策定

#### I 計画施策

- 第2期計画で定めた中長期的な基本方針を踏襲
- その実現に向けては、「新たな3つの視点」が必要
- 東京2020大会のスポーツ・レガシーの継承・発展の取組

#### II スポーツの価値

- 人々の心を動かす力や楽しさ
- 健康増進、地域・経済の活性化等に寄与

#### III 新たな3つの視点

##### ①スポーツを「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し・改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出す

##### ②スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、課題の対応や活動の実施を図る

##### ③スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違いによって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような社会の実現や機運の醸成を図る

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)①

#### 【推進施策1】子どもの体力向上とスポーツ活動の充実

教育委員会  
スポーツ推進局

##### 主な取組・成果

- 体育担当教員への研修による体育授業の充実等の結果、令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点の全国との比較では、多くの種目で全国平均値を上回りました
- 部活動指導員等の専門性を有する地域のスポーツ人材を中学校・高等学校へ派遣することにより、生徒が活発で充実した部活動を展開することができました
- 令和3・4年度の2か年で、3市町4中学校をモデル校として中学校における休日の運動部活動の段階的な地域移行の実践研究を行っています
- 三重とこわか国体・三重とこわか大会のイメージソングに合わせて制作した「とこわかダンス」を広める出前講座を実施し、県内各地の子どもたちに運動会やイベント等を楽しみながら運動・スポーツに親しむきっかけづくりをしました

##### 主な課題

- これまでの「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で全国平均を下回る種目(不得意種目)の克服と運動時間を自ら確保している子どもたちの割合を増やす取組を行う必要があります
- 中学校の部活動の地域移行においては、受け皿や指導者の確保、費用の負担などの課題を検討する必要があります
- 地域において子どもたちが運動・スポーツに親しむ機会の充実を図ることが必要です
- 子どもが運動することの大切さについて、家庭・保護者の理解促進につながる取組が必要です

目標項目	目標数値設定理由	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果	本県の子どもの体力が、平成34(2022)年度に全国平均を上回ることをめざし設定	51.34	49.2	— (全国調査中止)	52.3	51.5

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)②

#### 【推進施策2】地域におけるスポーツ活動の推進

スポーツ推進局

##### 主な取組・成果

- 新型コロナの影響で開催規模を縮小したり、中止する年があったものの、スポーツ推進月間（9月～10月）における「みえのスポーツフォーラム」や「みえスポーツフェスティバル」をはじめ、「美し国三重市町対抗駅伝」の開催・参加を促進したほか、スポーツ体験会や体力測定等を実施しました
- コロナ禍で運動・スポーツをする機会が減少している中、室内でもできる効果的な運動やストレッチを紹介する動画を制作し、YouTubeやツイッター等での紹介やイベントにおいて参加者に体験していただくなど、運動習慣の定着に取り組みました
- 県内の商業施設等を会場に総合型地域スポーツクラブのPRイベントを開催し、クラブが実施している教室・イベントに参加者に体験してもらったり、無料体験チケットを配布するなど、総合型地域スポーツクラブの知名度向上を図りました

##### 主な課題

- 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率は、目標と大きな乖離があります。特に、働く世代・子育て世代の実施率が低くなっています
- 「階段利用」や「自転車利用」などの日常における少しの動きでも広く運動と捉え、習慣的に運動・スポーツに取り組む意識へとつなげていく取組が必要です
- 中学校における休日部活動の地域移行が円滑に進むよう、地域において子どもを受け入れる環境づくりに取り組む必要があります

目標項目	目標数値設定理由	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	スポーツを「する」人の割合が「3人に2人」程度となれば、スポーツに参画する人がさらに拡大していくと考えられることから設定	52.8%	50.5%	50.4%	50.5%	65.0%

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)③

#### 【推進施策3】競技力の向上

スポーツ推進局

##### 主な取組・成果

- ▶ 競技力の向上に向けて、ジュニア・少年選手、成年選手、指導者といったターゲットごとに計画的かつ戦略的に支援を行った結果、令和元年の茨城国体では、男女総合成績で14位まで順位を上げることができました。また、東京2020オリンピック競技大会には、過去最多となる19名の三重県ゆかりの選手が出場し、活躍しました
- ▶ 競技団体から推薦された指導者に対し、日本一をめざすための指導力の獲得と資質の向上を図るため、国内トップクラスの講師を招聘した「みえコーチアカデミー」を実施しました

##### 主な課題

- ▶ 三重とこわか国体に向けて培った競技力を安定的に確保するため、長期的な観点から、ジュニア選手の発掘・育成・支援にも注力をする必要があります
- ▶ 競技力の向上を支える指導者やスタッフの人材不足など各競技団体の抱える課題を整理し、効果的な支援につなげることが必要です

目標項目	目標数値設定理由	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
国民体育大会の男女総合成績	三重とこわか国体で天皇杯・皇后杯の獲得をめざし、大会終了後も安定した競技力を確保する観点から設定。 【各期間の目標】 R1～R2 10位以内 R3 天皇杯・皇后杯の獲得 R4 10位以内	20位	14位	— (国体開催延期)	— (国体開催中止)	10位以内

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)④

#### 【推進施策4】障がい者によるスポーツ活動の推進

子ども・福祉部  
スポーツ推進局

##### 主な取組・成果

- 三重とこわか大会に向けた取組により、障がい者スポーツ選手の発掘・育成や指導者の養成、競技団体の育成が進むとともに、東京2020パラリンピックの開催と相まって、障がい者スポーツに対する県民の関心は着実に高まりました
- 障がい者スポーツのさらなる裾野の拡大に向けて、ワンストップ相談窓口を設置し、企業と障がい者スポーツ競技団体のニーズのマッチングなどを行う「三重県障がい者スポーツ支援センター」を令和4年度に開設しました
- パラリンピック等の国際大会や全国大会で活躍した実績があるなど一定の競技力を有するパラアスリートを強化指定し、合宿や競技用具の購入などに要する経費を支援する事業を令和4年度に開始しました

##### 主な課題

- 障がいの有無にかかわらず、ともにスポーツを楽しむことで、障がいへの理解や障がい者の社会参加を促進し、共生社会を実現するため、近年の障がい者スポーツに対する関心の高まりを生かし、障がい者スポーツを「する」、「みる」、「支える」裾野の拡大に取り組む必要があります
- 「三重県障がい者スポーツ支援センター」の機能充実に取り組む必要があります

目標項目	目標数値設定理由	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
障がい者スポーツに関する県民の割合	東京パラリンピック、三重とこわか大会に向けて、本県においても障がい者スポーツへの関心が高まることが見込まれるため、60%で設定	— ※参考 東京都(H29) 57.1%	54.0%	49.4%	56.1%	60.0%

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)⑤

#### 【推進施策5】スポーツを通じた地域の活性化

スポーツ推進局

##### 主な取組・成果

- 三重とこわか国体・三重とこわか大会を盛り上げていただく県民の皆さんの活動「とこわか運動」で、手書きの応援メッセージ入りのぼり旗や飾花による歓迎装飾の作成等の約1,400件の取組を行っていただくなど、さまざまな方法（「する」「みる」「支える」）で参画いただきました
- 県内12市町を巡る「東京2020オリンピック聖火リレー」、県内全市町から採火した火を集火し、開催地に届ける「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル」を実施し、地域の魅力発信、地域の活性化につなげました
- 東京2020大会の事前合宿を行う海外チームの受入れを実施し、県内のジュニア選手や地域の小・中学生と交流を深めました

##### 主な課題

- 両大会の開催競技が地域に根付き、スポーツを通じた交流や賑わいの創出を市町・競技団体と連携して進めることにより、「このスポーツといえばこの市町」といったイメージが定着できるよう支援・促進していく必要があります
- 本県の豊かな自然や文化、観光を絡めたスポーツツーリズムを推進する取組を行う必要があります

目標項目	目標数値設定理由	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合	三重とこわか国体・三重とこわか大会等の開催に向けて、スポーツを通じて夢や感動が育まれると実感する県民の割合が増加することが見込まれるため、90%で設定	81.1%	92.5%	81.5%	86.1%	90.0%

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)⑥

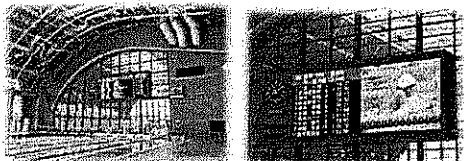
#### 【推進施策6】施設の整備等

スポーツ推進局

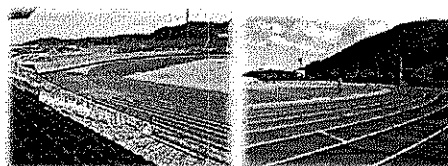
#### 主な取組・成果

- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開・閉会式会場、競技会場として予定していた三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場をはじめ、県営スポーツ施設（4施設）の国体競技施設基準適合に向けた施設整備および電光掲示板等の改修を実施しました

<三重交通G スポーツの杜 鈴鹿>  
水泳場の電光表示盤や音響システム機器



<三重交通G スポーツの杜 伊勢>  
陸上競技場第1種公認改修工事



<ドリームオーシャンスタジアム>  
スコアボードのLED化



<県営ライフル射撃場>  
男女別のトイレや多機能トイレの設置



#### 主な課題

- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会などの大規模大会に向けて整備した施設機能を維持するとともに、地域スポーツや競技力向上の拠点として、施設の老朽化への対応等、施設機能の維持・向上を図ることが必要です
- ▶ 県営スポーツ施設の管理運営については、指定管理者と連携しながら利用者の満足度の向上につながる効果的・効率的な運営に努め、コロナ禍で減少した利用者数の回復に取り組む必要があります

目標項目	目標数値設定理由	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
県営スポーツ施設年間利用者数	各施設の指定管理者が目標値として設定している年間利用者数の合計値を設定	1,181,289人	931,852人	437,505人	555,035人	969,930人

### 3 三重県のスポーツの現状・課題(第2次推進計画の取組検証)⑦

#### 【推進施策7】大規模大会の開催を契機としたスポーツ推進

スポーツ推進局

##### 主な取組・成果

- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けた取組の結果、県や市町において、競技施設の新たな整備や大規模な改修が行われるとともに、選手・指導者や競技役員等の人材が育成されるなど、多くのレガシーが各地域に遺されました
- ▶ 両大会の中止を受けて、全市町・競技団体を訪問し、さまざまな意見交換の結果をふまえ、両大会の開催に向け積み上げたレガシーの活用によるスポーツの振興や地域の活性化をめざして、「レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業補助金」を創設しました

##### <補助対象事業>

- ①国際大会の誘致・開催事業、②全国大会の誘致・開催事業、③トップリーク・プロスポーツ公式戦等の誘致・開催事業、④有力チームの合宿誘致事業、⑤競技普及事業、⑥人材育成事業、⑦施設等整備事業の7項目（市町・競技団体に対する補助）

##### 主な課題

- ▶ 両大会の開催に向けた取組を一過性にすることなく、この約10年間で積み上げられた施設整備や人材育成等のレガシーを活用し、選手やボランティアなどさまざまな人材を継続的に育成する仕組みや、スポーツ大会を通じた市町の人づくり、まちづくりを支援する方策を実施していく必要があります
- ▶ 両大会の開催に向けた取組の結果、施設も整備・改修され市町と競技団体の関係が成熟している市町がある一方で、会場が仮設であったことなどから大きな施設もなく、両大会後の具体的な取組が定まっていない市町もあります



## 4 計画の基本方針

### 計画のめざす姿

## スポーツを通じて「人」、「地域」を結ぶみえ

- ▶ 人口減少・高齢化の進展や新型コロナウイルスの感染拡大などにより、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しています
- ▶ 県民の皆さんの健康志向が高まり、運動・スポーツに親しむ機会が日常にあることがなお一層求められています。また、地域の絆づくりにおいて一体感の醸成などスポーツの持つ力に期待が寄せられています
- ▶ このような中、「第3次三重県スポーツ推進計画（仮称）」では、県民の皆さんがスポーツを楽しみ、スポーツとともに人生を歩みつつ、スポーツを通じて「人と人」、「人と地域」、「地域と地域」の絆を深める取組を進めます

※三重県スポーツ推進条例では「スポーツの持つ価値を最大限に活用し、県民の自主的かつ主体的な参画を得ながら、スポーツを通じた人づくり及び地域づくりを推進することが必要」としています

## 4 計画の基本方針

---

### 推進施策の方向性

『スポーツを通じて「人」、「地域」を結ぶみえ』をめざし、3つの柱で計画を推進します

#### 1. スポーツに触れ親しむ環境づくり

- ▶子どもから高齢者まで県民の皆さんが、体を動かすことの「楽しさ」や人とつながることの「楽しさ」、みんなで連帯して目標に向かう「楽しさ」など、誰もがスポーツによる「楽しさ」を享受できるように、スポーツに触れ親しむ環境づくりを進めます
- ▶障がい者スポーツの裾野の拡大とともに、障がい者が日常的にスポーツに参加できる環境づくりを進めます

#### 2. スポーツを通じた自己実現と感動体験

- ▶アスリートをめざす皆さんを支援していきます
- ▶三重県ゆかりの選手・チームの活躍によって、県民の皆さんに夢や感動を届け、県民の郷土への愛着や誇りを高めます

#### 3. スポーツを通じた地域の活性化

- ▶スポーツを通じて地域における世代間または地域間の交流を促し、スポーツの持つ力で地域の活性化につなげていきます

## 4 計画の基本方針

### 推進施策の取組イメージ

スポーツを通じて「人」、「地域」を結ぶみえ

三重とこわか国体・  
三重とこわか大会のレガシー

- ①スポーツを支える人づくりと  
スポーツの機運醸成
- ②県民の皆さんに夢や感動を  
与える競技力の向上
- ③県民の皆さんがスポーツを  
楽しむための施設整備

スポーツを通じた  
自己実現と感動体験

スポーツを通じた  
地域の活性化

スポーツに  
触れ親しむ環境づくり

第3期スポーツ基本計画  
新たな3つの視点

- ①つくる／はぐくむ
- ②あつまり、ともに、つながる
- ③誰もがアクセスできる

第2次三重県スポーツ推進計画の取組

## 5 推進施策の展開

推進施策	取組名	新たな3つの視点		
		つくる/ はぐくむ	あつまり、 ともに、 つながる	誰もが アクセス できる
1 スポーツに触 れ親しむ環境 づくり	(1)子どもたちが運動・スポーツに親しむための取組の拡充	○		
	(2)これからの学校スポーツと地域移行	○		○
	(3)気軽にスポーツに参画できる機会の充実	○		
	(4)障がい者スポーツの裾野の拡大		○	
	(5)地域スポーツの担い手の養成・資質向上	○		○
2 スポーツを通 じた自己実現 と感動体験	(1)未来を拓くジュニアアスリートの発掘・育成			○
	(2)選手の可能性を引き出す優れた指導者の養成・資質向上	○		○
	(3)三重県を代表するチームの強化支援		○	
	(4)県民に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・強化支援			○
	(5)国際大会や全国大会で活躍をめざすパラアスリートの強化支援			○
3 スポーツを通 じた地域の活 性化	(1)三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシー継承・発展	○	○	○
	(2)スポーツを通じた交流やスポーツツーリズムの促進		○	○
	(3)安全、快適なスポーツ施設の提供		○	○

## 5 推進施策の展開 【推進施策1】スポーツに触れ親しむ環境づくり

スポーツ推進局  
教育委員会  
子ども・福祉部

### 施策構成

- (1)子どもたちが運動・スポーツに親しむための取組の拡充
- (2)これからの学校スポーツと地域移行
- (3)気軽にスポーツに参画できる機会の充実
- (4)障がい者スポーツの裾野の拡大
- (5)地域スポーツの担い手の養成・資質向上

### 取組の方向性

- 市町・競技団体等が行うさまざまな地域スポーツ推進の取組と連携して、県民の皆さんがスポーツに参画する(する・みる・支える)機会の拡充を図ります
- 楽しさを味わいながら体を動かし、運動が好きになり、積極的に運動やスポーツに親しむことを通じて、体力の向上が図られるよう取組を進めます
- 部活動指導員等の地域人材の配置や、地域スポーツ団体と連携した休日における部活動の地域移行等、持続可能な部活動となる取組を進めます
- 障がいの有無にかかわらず、ともにスポーツを楽しむことで障がいへの理解や障がい者の社会参加を促進し、共生社会を実現するため障がい者スポーツの裾野拡大に取り組めます

## 5 推進施策の展開 【推進施策1】(1)子どもたちが運動・スポーツに親しむための取組の拡充①

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- ▶ 運動習慣のある子どもと無い子どもの二極化の傾向が見られます
- ▶ 体を動かすことの楽しさを体感できるイベントを開催するなど、子どもたちが運動・スポーツに親しむ機会の充実を図る必要があります
- ▶ 子どもの運動・スポーツの実施には保護者の影響も大きいことから、家庭・保護者の理解促進につながる取組が必要です

### 取組の方向性

- ▶ 多くの子どもたちが参加し、運動・スポーツに親しめるよう、スポーツイベント内容の充実を図ります
- ▶ 子どもが運動することの大切さについて、家庭・保護者の理解促進を図ります

### 主な取組

- ▶ 「みえスポーツフェスティバル」や「みえのスポーツフォーラム」等、誰もが気軽に参加でき、幼児期から体を動かす楽しさ・大切さに気付くきっかけとなるスポーツイベントを開催するとともに、家族で楽しめるレクリエーションスポーツの普及に取り組みます
- ▶ 保護者等に向けて、SNS等を活用して子どもの運動・スポーツ実施の重要性について周知・啓発に取り組みます

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
運動する時間を自ら確保している 子どもたちの割合	小学生38.0% 中学生77.2%	小学生44.1% 中学生78.2%	「学校の体育・保健体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを合計で1日およそどれくらいしていますか」という質問に対して、1週間の総運動時間が7時間以上と答えた公立小中学生の割合

## 5 推進施策の展開 【推進施策1】(1)子どもたちが運動・スポーツに親しむための取組の拡充②

教育委員会

### 主な現状・課題

- 室内遊び等の増加や新型コロナウイルス感染症の影響等により、児童生徒の運動時間が減少している
- 1週間の総運動時間が7時間以上の児童生徒の割合が減少している  
(H30 60.5% → R3 57.6%)

### 取組の方向性

- 各学校において全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果をもとに、体力向上の目標を立てるとともに、運動が好きになる児童生徒が増える魅力ある授業となるよう改善を行います
- 児童生徒が体育の授業以外においても日常的に体を動かす機会が確保されるよう取り組みます

### 主な取組

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析・検証し、子どもたちの体力の状況を共有するとともに、各学校が体力調査結果に応じて元気アップシートを作成し、児童生徒の体力向上の取組を推進します
- 国の指導力向上研修や小・中学校体育担当者対象の研修会を通して、教員の指導力の向上を図るとともに、ICTを効果的に活用した技能の向上や運動量の確保など、体力向上のための授業改善に取り組みます
- 体力合計点の高い学校の1学校1運動の好事例を共有し、各学校における効果的な取組を推進します

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
運動する時間を自ら確保している 子どもたちの割合	小学生38.0% 中学生77.2%	小学生44.1% 中学生78.2%	「学校の体育・保健体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを合計で1日およそどれくらいしていますか」という質問に対して、1週間の総運動時間が7時間以上と答えた公立小中学生の割合

## 5 推進施策の展開 【推進施策1】(2)これからの学校スポーツと地域移行

教育委員会  
スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 深刻な少子化による生徒数の減少に伴い、各学校での運動部活動の継続が困難な状況も生じていることから、子どもが専門的な指導を受けることができるよう、地域人材を配置するなど、取り組む必要があります
- 部活動は持続可能性の面で厳しさを増す中、競技経験のない教員が指導せざるを得なかったり、休日も含めて指導が求められたりするなど、大きな負担になっています
- 将来にわたり子どもたちが継続してスポーツに親しむことができる機会を確保するため、中学校における休日の部活動から段階的な地域移行を進める必要があります

### 取組の方向性

- 運動部活動が持続可能なものとなるよう、「部活動ガイドライン」等の遵守や専門人材の配置を進めます
- 中学校における休日の部活動の地域移行が円滑に進むよう、市町等教育委員会やスポーツ団体等と連携して、受け皿や指導者の確保を図ります

### 主な取組

- 部活動における子どもたちに対する専門的な指導を充実するとともに、教職員の負担を軽減を図るため、部活動指導員等の専門人材について効果的な配置を進めます
- 市町教育委員会が、スムーズに中学校における休日の部活動の地域移行に繋げるよう、受け皿となるスポーツ団体等や指導者を確保するため、県として必要な助言と支援を行います
- 県スポーツ協会と連携し、受け皿となる総合型地域スポーツクラブ等の受入れ環境の整備に向けて、先進事例の情報共有や意見交換等を行います

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
検討中			



## 5 推進施策の展開 【推進施策1】(3)気軽にスポーツに参画できる機会の充実

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率は50.5%であり、目標値65.0%とは大きく乖離があります
- 年齢や性別、障がいの有無などに関わらず多くの人が気軽に運動・スポーツに親しめる環境づくりを進める必要があります
- 特に、「働く世代・子育て世代」、「女性」の実施率が他の類型と比べ低く、「健康になりたい」、「家族や仲間とつながりたい」と考えてはいるものの、「機会・場所がない、仲間がいない」、「仕事が忙しくて時間がない」などの理由から、スポーツをしたくてもできない状況があります

### 取組の方向性

- より多くの県民の皆さんが運動・スポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツへの興味・関心を高めます
- 特に、運動・スポーツ実施率が相対的に低い「働く世代・子育て世代」、「女性」を主たるターゲットとして、スポーツへの興味・関心を高めることにより、運動・スポーツ実施率の向上を図ります

### 主な取組

- 「みえスポーツフェスティバル」や「みえのスポーツフォーラム」等の取組を通じて、スポーツに親しむ機会の拡充に取り組みます
- それぞれのライフスタイルにあわせて運動・スポーツに取り組むことができるよう、仕事や育児・家事等の合間にできる簡単な取組などの紹介等、多様な主体がスポーツを楽しむことができるよう支援します

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	50.5% (R3実績)	65.0%	1週間に1回以上、運動・スポーツを実施している県民(成人)の割合

## 5 推進施策の展開 【推進施策1】(4)障がい者スポーツの裾野の拡大

子ども・福祉部

### 主な現状・課題

- 三重とこわか大会を契機に障がい者スポーツに取り組む選手や競技団体が増えましたが、今後競技人口の維持・拡大が課題です
- 障がい者が身近な地域で日常的にスポーツに取り組む環境が不十分です
- 「三重県障がい者スポーツ支援センター」を核として、障がい者スポーツを「する」「みる」「支える」裾野のさらなる拡大が課題です

### 取組の方向性

- 選手の発掘・育成や、競技団体の活動の活性化に向けた支援を行います
- 障がい者が身近な地域で日常的にスポーツにふれることのできる環境づくりを進めます
- 障がい者スポーツのさらなる裾野の拡大に向け、障がいの有無にかかわらずさまざまな形で障がい者スポーツに関わる人を増やします

### 主な取組

- 選手の発掘に向けて初心者講習会を開催するとともに、競技団体の体制整備と選手の育成を目的として、競技団体が実施する練習会や遠征などにかかる経費を補助します
- 地域のスポーツ団体等と連携して、障がい者が身近な地域でスポーツにふれることのできる体験会や練習会を開催します
- 県障がい者スポーツ大会等の開催や全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣など、障がい者スポーツにかかる取組を推進します

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の目標値	目標項目の説明
県が主催する障がい者スポーツ大会等への参加者数	3,800人 (平成30年度)	4,200人	県が主催する障がい者スポーツ大会や障がい者スポーツイベントにおける「する」「みる」「支える」人の数
初心者講習会に参加した障がい者の人数	190人	310人	県が開催している各種障がい者スポーツ競技の初心者講習会に参加した障がい者の人数

## 5 推進施策の展開 【推進施策1】(5)地域スポーツの担い手の養成・資質向上

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員をはじめさまざまなスポーツ関係団体が活動しています
- 総合型クラブについては、新規の会員や指導者の確保が困難であったり、運営に関わる後継者が不足している等の課題があります
- 総合型クラブは中学校における休日部活動の地域移行の受け皿の一つとして期待されていますが、現状では地域移行についての情報や知識が不足しているとともに、地域移行に対応できる総合型クラブは一部に限定されます
- スポーツ推進委員についても、地域によって活動に差異があるため、さらに量的・質的充実を図る必要があります

### 取組の方向性

- 地域スポーツの担い手となる指導者の養成・資質向上を図ります
- 県、県スポーツ協会、市町等が連携・協働し、総合型クラブの安定した運営に向けた支援やスポーツ推進委員の活動に対する支援を行うことにより、それぞれの課題解決を図り、子どもから高齢者まで幅広い県民が運動・スポーツに親しむことができる環境づくりをめざします

### 主な取組

- 関係団体等と連携して開催する研修会等において、地域スポーツの担い手となる指導者の養成・資質向上に取り組めます
- 総合型クラブの登録・認証制度を運用し、総合型クラブの質的向上に取り組めます
- 総合型クラブやスポーツ推進委員等の地域スポーツの活動について、SNS等を活用して「見える化」を促進することで、活動に対する認識・理解を促進し、地域にふさわしい成り手の確保に取り組めます

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
総合型地域スポーツクラブの 認知度	8.6% (R3実績)	25.0%	県民の総合型地域スポーツクラブに対する認知度の割合

### 施策構成

- (1) 未来を拓くジュニアアスリートの発掘・育成
- (2) 選手の可能性を引き出す優れた指導者の養成・資質向上
- (3) 三重県を代表するチームの強化支援
- (4) 県民に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・強化支援
- (5) 国際大会や全国大会で活躍をめざすパラアスリートの強化支援

### 取組の方向性

- ▶ ジュニア・少年選手の発掘・育成に取り組みます
- ▶ ジュニアから成年選手まで、幅広い年齢層の選手に応じた指導ができる優れた指導者を養成するとともに、競技団体等と連携した一貫指導体制の構築を図ります
- ▶ 本県の安定的な競技力の確保を図り、今後も多くの本県選手が国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会で活躍することで、多くの県民の皆さんに感動を与え、一人ひとりの誇りや夢につながり、それが希望や勇気となるよう、選手やチーム、競技団体が行う強化活動の支援、トップアスリートの県内企業への就職支援、女性アスリートの支援等に取り組みます
- ▶ 一定の競技レベルを有するパラアスリートについて、パラリンピック等の国際大会や全国大会で活躍できるよう、その強化活動を支援します

## 5 推進施策の展開 【推進施策2】(1)未来を拓くジュニアアスリートの発掘・育成

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 将来を担うジュニア選手(小中学生)については、競技人口の少ない競技の選手の発掘、育成の支援、ジュニアクラブ・高等学校運動部の強化指定による拠点化、少年期からの一貫した指導体制の構築等、長期的な視点での支援に取り組んでいます
- 競技人口の少ない競技については、次代を担うジュニア選手を発掘し、競技人口の増加と裾野の拡大を図る必要があります
- ジュニアクラブ・運動部を強化指定し、競技力向上のための拠点化をさらに進める必要があります
- 指導者の資質向上を図り、少年期から成年期まで一貫した指導体制を構築する必要があります

### 取組の方向性

- 競技人口の少ない競技については、タレント発掘・育成事業などを活用し、将来に活躍が期待される、優れた資質を有する小中学生を発掘します
- ジュニアクラブ・運動部を指定し、国民体育大会等で少年種別の中心となる選手の育成・強化を支援します。また、全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手をチームみえジュニアとして指定し、強化活動の経費を支援します
- 競技力向上のため、少年期から成年期まで専門的な指導者により一貫した指導を支援します

### 主な取組

- 優れた資質を有する小中学生を発掘・育成します(三重県アスリートタレント発掘・育成事業)
- 将来を担う選手の育成拠点となるジュニアクラブの強化活動を支援します(ジュニアクラブ・運動部強化指定事業)
- 全国大会等で活躍する中高校生の強化活動を支援します(チームみえスーパージュニア強化指定事業)

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
全国大会の入賞数	70件	165件	国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会における、団体・個人の入賞数

## 5 推進施策の展開 【推進施策2】(2)選手の可能性を引き出す優れた指導者の養成・資質向上

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- ▶ 三重とこわか国体後の安定した競技力を確保するため、ジュニア選手から成年選手まで幅広い年齢層の選手に応じた指導ができる指導者の養成、および、その指導者を育成する指導者(コーチデベロッパー)の養成と、一貫した指導体制の構築に取り組み、指導者や競技団体等を支援しています
- ▶ 将来を見据え、長期的な視点で競技力の向上を図るには、幅広い年齢層の選手に応じた適切な指導ができる指導者を養成する必要があります  
併せて、ジュニア期から成年期まで、一貫した指導体制づくりが不可欠です
- ▶ 優れた指導者を拡充するため、コーチデベロッパーの養成が必要です

### 取組の方向性

- ▶ 日本一をめざす選手を育成するため、「みえコーチアカデミー」において、国内トップクラスの講師により、指導力の向上やスポーツ・インテグリティに関する研修を行い、指導者の資質向上を図ります。また、指導者が各カテゴリーを超えて交流することでチームの一体感を醸成し、一貫的な指導体制を構築します
- ▶ コーチデベロッパーを養成し、日本一をめざす選手を育てる優れた指導力と資質を兼ね備えた指導者を拡充します

### 主な取組

- ▶ 指導者としての資質向上のための研修の実施、コーチデベロッパーを養成します(みえ・コーチアカデミー)
- ▶ 指導者の抱える諸課題の解決に向けたサポートを実施します(みえマルチサポートシステム)
- ▶ 受講生同士の情報共有・情報発信と一体感の醸成に取り組みます(みえコーチングコミュニティ)

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
検討中			

## 5 推進施策の展開 【推進施策2】(3)三重県を代表するチームの強化支援

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 成年選手の重点的な競技力向上を図るため、本県を代表するチームとして全国での活躍が期待できるチームを指定し、支援しています
- 競技団体やクラブチームの体制強化を図り、組織力や経営力を高めるため、運営(経営)に課題を抱えるクラブチームや競技団体を支援しています
- 競技団体やクラブチームによっては、運営(経営)基盤が弱く、組織の持続的な運営(経営)に課題を抱えている場合があります

### 取組の方向性

- 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業によりチームを指定し、その強化活動を支援することで、本県選手の競技力の向上を図ります
- 競技団体・チームサポート事業により、持続的な運営(経営)が可能となるよう、専門性を有するアドバイザーを派遣することで、クラブチームや競技団体の体制強化を図ります

### 主な取組

- 国体等で活躍が期待されるチームの競技力向上を支援します(大学運動部企業クラブチーム強化指定事業)
- 運営(経営)に課題を抱える競技団体やチームに専門知識を有するアドバイザーを派遣し、組織の体制強化を支援します(競技団体・チームサポート事業)

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
検討中			

## 5 推進施策の展開 【推進施策2】(4)県民に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・強化支援

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 選手やチーム、競技団体が行う強化活動への支援や、企業関係団体等と連携したトップアスリート・指導者の県内定着などに取り組んでいます
- これまで積み重ねてきた競技力向上の取組のノウハウを生かした選手・チームの支援が必要です
- 三重とこわか国体・三重とこわか大会が中止となったものの、今後、国民体育大会男女総合成績10位台前半を維持するため、本県選手・チームの安定的な競技力が必要です

### 取組の方向性

- 選手・チームの課題を把握し、実力を引き上げられるよう、レベルの高い相手との試合や合宿の取組を支援します(競技団体等の強化練習や合宿、本県を代表するチームの強化活動を支援します)
- 選手が大会で実力を発揮できるよう、医科学の専門スタッフを競技団体等に配置するなど支援します
- 女性アスリート特有の諸課題に関する研修を実施し、知識習得・意識向上を図ります
- 企業関係団体等と連携した就職支援により、トップアスリート・指導者の県内定着を図ります

### 主な取組

- 国体で活躍が期待される選手やチームの強化活動を重点的に支援します(チームみえ国体選手強化事業、大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業他)
- 競技力確保のため、トップアスリート等の県内企業への就職を支援します(トップアスリート就職支援事業)
- 本県における国民体育大会の開催に向けて機運醸成に努めるとともに、日本スポーツ協会の3巡目のあり方検討をふまえつつ、市町・競技団体をはじめとする県内関係者や国等との調整を図ります

### 目標・指標

項目	現状値	令和3年度の 目標値	目標項目の説明
国民体育大会の男女総合成績	— (中止)	10位台前半	国民体育大会における正式競技の参加点(ブロック大会を含む)と冬季大会および本大会の競技得点の合計による都道府県ごとの男女総合順位



## 5 推進施策の展開 【推進施策2】(5)国際大会や全国大会で活躍をめざすパラアスリートの強化支援

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- ▶ パラリンピック等の国際大会や全国大会で活躍が期待される一定の競技力を有するパラアスリートの競技力向上を図るため、強化指定を行い、合宿や競技用具の購入などに要する経費を支援しています
- ▶ 競技によっては、パラスポーツを専門とするコーチや、同じレベルの練習パートナーが県内に不足しており、活動拠点を県外や海外に求めざるを得ない場合があります
- ▶ 競技用具の機能や調整具合が勝敗を分けることがあり、個々の競技の特性をふまえたきめ細かな支援が必要です

### 取組の方向性

- ▶ 県によるパラアスリートへの本格的な支援は、令和4年度に始まったばかりです。上記諸課題を解決し、きめ細かな支援を行うため、支援する側が選手一人ひとりの状況把握に努め、求められる支援のためのノウハウや経験を蓄積します

### 主な取組

- ▶ パラリンピック等で活躍の期待される選手を強化指定し、その強化活動に要する費用を支援します(パラリンピック等選手強化指定事業)

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
パラアスリートの全国大会の入賞数	35件	41件	ジャパンパラ競技大会、日本選手権における、団体・個人の入賞数

### 施策構成

- (1)三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシー継承・発展
- (2)スポーツを通じた交流やスポーツツーリズムの促進
- (3)安全、快適なスポーツ施設の提供

### 取組の方向性

- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けて積み上げたレガシーを活用して、大規模大会の誘致・開催、各地域での開催競技に関わるスポーツイベントの開催、それらを支える競技役員等の人材の育成・継承などに取り組む市町や競技団体を支援することにより、スポーツの振興や地域の活性化を図ります
- ▶ さまざまなスポーツ大会等が数多く開催できるよう、施設機能の維持・向上や老朽化施設の改修等を計画的に行います
- ▶ 県民の皆さんが施設をより快適に利用できるよう、指定管理者制度を通じて魅力的な事業やサービスの提供に取り組みます

## 5 推進施策の展開 【推進施策3】(1)三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシー継承・発展

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けた約10年に及ぶ取組の結果、県や市町において、競技施設の新たな整備や大規模な改修が行われるとともに、選手・指導者や競技役員等の人材が育成されるなど、多くのレガシーが各地域に遺されました
- ▶ 両大会の開催に向けた県・市町・競技団体の取組を一過性にすることなく、施設整備や人材育成等のレガシーを活用し、選手やボランティアなどさまざまな人材を継続的に育成する仕組みや、スポーツ大会を通じた市町の人づくり、まちづくりを支援する方策を実施していく必要があります

### 取組の方向性

- ▶ 両大会の開催競技が地域に根付き、スポーツを通じた交流や賑わいの創出を市町・競技団体と連携して進め、「このスポーツといえばこの市町」というイメージが定着できるよう支援・促進していきます

### 主な取組

- ▶ 市町・競技団体等が行う大規模大会等の誘致・開催やスポーツ教室などの競技普及事業の開催を支援します。さらに、これらの大会等を支える競技役員・ボランティアの養成支援を行うことにより、スポーツを「する」「みる」「支える」人の裾野拡大を図ります

<補助対象事業>

- ①国際大会の誘致・開催事業、②全国大会の誘致・開催事業、③トップライグ・プロスポーツ公式戦等の誘致・開催事業、④有力チームの合宿誘致事業、⑤競技普及事業、⑥人材育成事業、⑦施設等整備事業の7項目（市町・競技団体に対する補助）

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシーを活用し、スポーツを通じたまちづくりに取り組んだ件数(累計)	0件	90件	県の補助金を利用したことにより国際大会等の大規模大会を誘致・開催した件数および両大会の開催競技を地域に根付かせるスポーツイベントを開催した件数

## 5 推進施策の展開 【推進施策3】(2)スポーツを通じた交流やスポーツツーリズムの促進

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 本県の豊かな自然、美しい風景や歴史的な景観、文化財をはじめとする多くの観光資源等や三重とこわか国体・三重とこわか大会、東京2020大会に向けた取組で培われたノウハウや充実した施設・整備と活かしたスポーツイベントの開催やスポーツ合宿を推進することにより、多くの人々が訪れ、地域間交流が生まれ、地域の活性化へつなげることが求められています
- 県内各地においてはスポーツツーリズムの取組が展開されています

### 取組の方向性

- 多くの方が参画でき、スポーツを通じた地域の絆づくりの拡大が期待できるスポーツイベントの誘致・開催に取り組む市町や競技団体を支援します
- 地域の持つ豊かな自然や文化、充実した施設・設備等のスポーツ資源を生かしたスポーツツーリズムの取組を進めていきます

### 主な取組

- 市町・競技団体等が行う大規模大会やスポーツ合宿誘致を支援することに取り組めます
- 美し国三重市町対抗駅伝等の、県民の皆さんが一体感を醸成できるスポーツイベントを開催します
- SNSを活用したウェブプロモーションを通じて、スポーツツーリズムや合宿等のスポーツに関する情報発信を行います

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
県内スポーツイベント等への参加者数	34,956人	204,000人	県内で開催されるスポーツイベントにおける参加者、観戦者、大会役員・ボランティアの数

## 5 推進施策の展開 【推進施策3】(3)安全、快適なスポーツ施設の提供

スポーツ推進局

### 主な現状・課題

- 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けて三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場などの県営スポーツ施設(4施設)のほか、市町においても国体競技会開催に必要な施設整備が進められ、全国規模の大会が開催できる環境が整いました
- 施設機能の維持向上や老朽化への対応を図る必要があります
- 指定管理者と連携しながら利用者の満足度の向上につながる効果的・効率的な運営に努め、コロナ禍で減少した利用者数の回復に取り組む必要があります

### 取組の方向性

- 県営スポーツ施設の整備にあたっては、利用者の安全を第一に、また、快適に利用できるよう、計画的に施設整備を進めます
- 県民の皆さんが施設をより快適に利用できるよう、指定管理者制度を通じて魅力的な事業やサービスの提供に取り組めます

### 主な取組

- 施設機能の維持向上や老朽化への対応、バリアフリー化などの障がい者スポーツへの対応を図るための計画的な施設整備を進めます
- 指定管理者と連携し、魅力的な事業や快適なサービスを提供することで、利用促進に向けた取組を積極的に進めます

### 目標・指標

項目	現状値	令和8年度の 目標値	目標項目の説明
県営スポーツ施設年間利用者数	555,035人	1,020,000人	県営スポーツ施設(三重交通Gスポーツの杜鈴鹿、三重交通Gスポーツの杜伊勢、ドリームオーシャンスタジアム、県営ライフル射撃場)の年間利用者数

## 6 計画の実現に向けて

---

### 推進体制

- 「三重県スポーツ推進計画担当者会議（仮称）」を年2回程度開催し、関係者との進捗状況の共有や取組の連携を図ります

### 進捗管理

- 「三重県スポーツ推進審議会」において、「三重県スポーツ推進計画担当者会議（仮称）」で取りまとめた進捗状況等を報告します